

なますて

नमस्ते

※「なますて」とは…インドのあいさつで「おはよう」や「こんにちは」の意味で使われます。我々の称える「南無」の語源とも言われています。



ネパール訪問記

今年の4月30日～5月9日、ネパールを訪問して来ました。今回の目的は2つです。一つは約40年ぶりにお釈迦様生誕の地『ルンビニ』を訪問すること。もう一つは昨年4月の大地震の被災状況をこの目で確認する、というものでした。最初の目的である『ルンビニ』は、インドとの国境近くであり、私がかつて訪れた時は、アショーカ王の建てた石柱と小さなマヤ堂と産湯をつかったといわれる池があるだけ、という本当に荒れ果てた状態でした。その後、世界中の仏教徒から浄財を募り、日本の建築家丹下健三氏のマスタープランに基づき、お釈迦様生誕当時の様な美しい公園にするべくプロジェクトが立ち上げられたのです。今では十数か国の寺院が立派に建ち、世界中の花々が咲き乱れ、沢山の方々が参詣しておりました。マヤ堂の中には釈迦生誕の場所があり、2500年前の情景に思いを馳せ胸が熱くなりました。

次の目的である復興の状況ですが、1年経った今でもなかなか進んでいない、というのが現状のようです。未だに60万世帯がテント生活を強いられているとのことで、夏は暑く冬は寒いという気象状況を考えると本当に厳しい暮らしであろうことが想像されました。又、美しき都と呼ばれたパタンやバクタプルなどたくさんの歴史的な建造物が、「なんたら…いただきますね！」と絶句してしまうような状況でした。復旧出来なければ世界遺産の多くが指定取り消しになってしまう可能性があるとか…。なんとか世界中の支援を受けあのすばらしい遺産を復興してほしいと切に願うばかりです。

そのような状況下、カトマンズの郊外で50数名の障がいのある子供たちのお世話をしている一人の教師がいて聞いて訪問しました。震災後しばらくは大変な状況であったようですが、現在は沢山の支援をいただきながら子どもたちも元気に生活しているとのことでした。寄宿舎では音楽療法や絵画療法等を行っており、楽しい演奏を披露してもらったり素敵な絵画をみせてもらったり…又、日本からの文房具をプレゼントしたり、と楽しく交流をさせていただきました。

世界にはまだまだほとんど支援の手がゆき渡っていない人達が沢山いるということも忘れてはいけなく強く感じました。小さな支援であっても息長く続けていけたらと思います。



↑お釈迦様生誕の地ルンビニ
手前が産湯の池、奥がマヤ堂



↑大地震で多くの世界遺産が倒壊。
迅速な復興が望まれる。



↑被災者のテント



↑障がい児施設にて
音楽は世界の共通語

第54回光林寺寄席

毎年、恒例の『光林寺寄席』が6月26日(日)に開催されました。

今回の噺家さんは『入船亭扇遊』師匠です。扇遊師匠、実は第1回光林寺寄席(昭和57年・1982年)に永六輔さんにご出演いただいているのです。当時、二つ目(前座→二つ目→真打)で『扇好』という高座名でした。その後、真打披露を第9回光林寺寄席で行うなど、当寄席とは30有余年の古いお付き合い。師匠である入船亭扇橋師匠と共にいらっしゃる事も多く出演回数は10度を数えます。かつては若手のホープと言われた扇遊師匠も最近は風格を増し、平成22年からは落語協会理事の要職をお務めます。

今回の高座は、落ち噺の代表作『天狗裁き』、名人物の名作『ねずみ』、古典落語の傑作『井戸の茶碗』の三席でした。

どの話も素晴らしくすっかり引き込まれます。どの噺も情景が浮かび、登場人物の息づかいまで聞こえてくるよう。『井戸の茶碗』を聴きながら古典落語の奥深さ、寄席の素晴らしさを再確認することが出来ました。



また、今回も裏千家高橋宗章社中の皆さんに、お茶席のご協力をいただきました。ありがとうございました。

来年も同時期に第55回を開催予定です。



入船亭扇遊 師匠

芸歴

1972(昭和47)年11月	入船亭扇橋に入門 前座名「扇ぼう」
1977(昭和52)年3月	二ツ目昇進 「扇好」と改名
1985(昭和60)年9月	真打昇進 「扇遊」と改名
2010(平成22)年	落語協会理事に就任

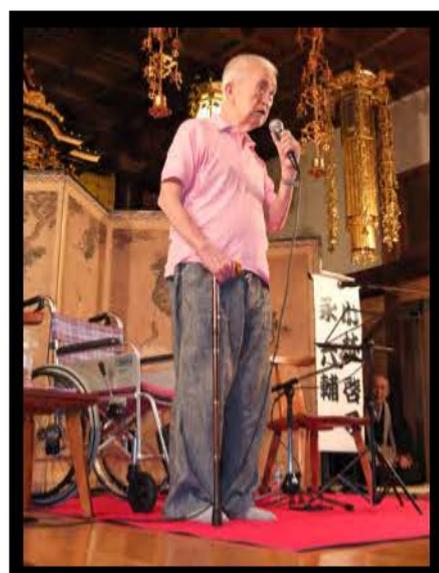
去る、7月7日、永六輔さんが亡くなりました。パーキンソン病と闘いながらの晩年でした。3年前、6月の光林寺寄席50回記念に来られなかったことを気に留めて下さり、9月に車いすでご来山いただき、お元気な姿を見せて下さったのが光林寺寄席最後のご出演となりました。

国際障害者年の昭和56年に講演会にお招きしたのがご縁です。その際、お寺はもっともっと開かれなければ！と、本堂での落語会を提唱していただき、自ら何度もご来山いただき、また、多くの方を紹介して頂きました。

去年は入船亭扇橋師匠が、先日には柳家喜多八師匠もお亡くなりになり、とても寂しい限りです。時の流れ、世の無常を感じざるを得ません。しかし、お三方から教わったことを大切に、これからも楽しい催しを企画し、老若男女が集えるお寺にしていけたらと思います。

心よりご冥福をお祈り致します。

合掌



↑ 第51回光林寺寄席での永さん

第34回光林寺てらこや合宿

今年も恒例のてらこや合宿が7月30～31日に行われました。

今年は37名の小学生が集い『ネパールカレー＆ナン作り』に挑戦しました。今回は講師にネパール・日本民間親善協会のシャヒ会長とネパール料理店のラマ料理長をお招きしました。シャヒ会長にはネパールの文化や情勢、料理やスポーツの事を教えていただきました。座学の最後にはネパール・インド地方で盛んな鬼ごっこに似たスポーツ『カバティ』を皆で体験しました。なかなかハードで奥深いスポーツに意外と子ども達もノリノリでした。

その後は、ラマ料理長指導・実演のもと『カレー＆ナン』作りです。子ども達も粉まみれになりながら生地を練り、危なっかしい手つきで野菜をカット(；°ロ°)私たちスタッフもゴールが分からず右往左往(；°ロ°)しかしソコは一流料理人ラマさん。材料も調理器具も揃わない上に屋外という悪条件にも関わらずメチャクチャ美味しいカレー＆ナンを見事に作り上げたのであります。ホントに美味しかったΣ(°Д°)！！

他にも、竹箸作りに竹馬、長縄飛びなどの伝承遊びや肝試し、花火にスイカ、朝の勤行など盛りだくさんの2日間となりました。

また、今回は花北青雲高校2、3年生5名がボランティアとして参加してくれました。天気も良く、子供たちも元気いっぱいでしたから、ボランティアさんにとってはだいぶ大変な経験だったかもしれませんね。子供達の体力は無尽蔵ですから…(^^)

来年も同時期に開催予定です。是非、ご参加お待ちしております。



↑ナン作り



↑鐘つき



↑朝の勤行



↑美味しい！！



↑カバティ中



↑花火



↑朝食風景

花まつり

桜咲く 4月28日、花まつりを開催しました。花まつりは仏教の開祖お釈迦様の誕生を祝う行事で「降誕会(ごうたんえ)」とも呼ばれます。(キリスト教で言えばクリスマスです。)本来は4月8日に行われる行事ですが、季候も良く、花の多いこの時期に開催しています。

当山の花まつりでは、ルンビニー苑や好地荘、松風園の利用者、八幡保育園の園児たち、計100名ほどを招いて開催しています。皆で献花・献灯し、お釈迦様のお像に甘茶を捧げ、花びらを撒き、お釈迦様のお誕生日を盛大にお祝いしました。

その他にも、八幡保育園園児の皆さんによるお歌のご披露や参加者全員での合唱など、楽しい会になったと思います。最後に住職からお菓子が配られ、みんな大喜びでした。



↑皆で花まつり



↑甘茶を捧げます



↑お花を捧げます

豊沢光林寺公園清掃奉仕 報告

毎年、皆様にご協力をお願いして行っております「豊沢光林寺公園清掃奉仕」を去る7月2日に行いました。今年の開山忌塔前地区である北寺林・好地地区の皆様にご協力いただきました。多発する熊被害の為、影響が懸念されましたが、事故もなく無事に作業をすることが出来ました。参加して下さいました皆様には、篤く御礼申し上げます。

高橋久雄 総代組・照井稲三 総代組・玉山俊行 総代組

高橋雅勇 総代組

総勢23名 参加

秋季開山忌のご案内

お
知
ら
せ

◎日時 平成28年11月23日(水・祝日)

午前10時00分 御詠歌

午前11時00分 開山忌法要(法要終了後、ご法話)

※ 秋季開山忌の塔前(当番地区)は
好地・紫波・山王海 地区 です。

ご協力の程、よろしくお願ひ致します。